ゆい
結通信

NO. 61
2024年 7月25日

ともに歩む 結みのお
〒562-0003 箕面市西小路3-12-6
Tel&Fax 072-722-9914
E-mail：yui-minoh@hcn.zaq.ne.jp
http://www.yui-minoh.com
https://www.facebook.com/yuiminoh
郵便振替番号：00920-8-300135（ともに歩む『結みのお』）

これから試される自治力

牧野　直子

能登地震から半年

年明けから地震に見舞われた能登半島の各市町村は過疎化し、高齢者が多くその中での復旧作業が中々すすまないとのことです。

私たちは阪神淡路大震災を経験しています。あれからすでに来年で 30 年。あの頃のことは私たちの脳裏に今でも焼き付いています。経験したものだからわかることがあります。すでに体力的には無理でも多くの人のネットワークを活かしてできることをしたいと思います。たとえば「結物産に能登の産物を取り入れる」などを考えています。

2011 年には東日本大震災があり、東電の原発事故が発生しているので、今回、能登の志賀原発に被害がなく、ほっとしました。日本という地震大国で、原発というのはあまりにも危険ではないでしょうか？ 今、結ルームには、原発誘致に反対の署名用紙を置いています。ぜひこの機会に声を上げていきたいと思います。ご協力いただける方はよろしくお願いします。

自然災害に備えて

最近は気候変動のせいか、地震の多発だけではなく、春夏秋冬がおかしくなってきているようです。急な豪雨により、あちこちで崖崩れや川の氾濫がおきています。今後災害が多発するのではと気がかりです。

災害に備えて食料などの備蓄はされているとは思いますが、いざというのときのために普段から体力をつけておくことも必要です。私は毎朝 6 時半のラジオ体操は欠かさずやっています。また後期高齢者に仲間入りしたことを機に車を手放し、徒歩と自転車と公共交通を中心に活動することにしました。

そしていざというときに備えて、近所の方々や「結みのお」のネットワークを大事にしていきたいと思います。

破綻する介護保険制度

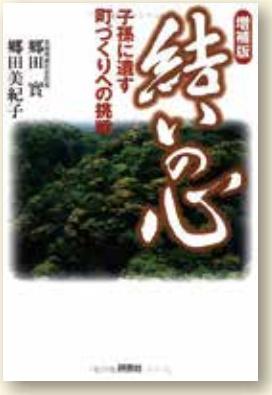
「介護の社会化」として 2000 年にスタートした介護保険ですが、少子高齢化がすすむなかで、保険料がどんどん値上がりし、このままでは介護崩壊に向かっていると言われています。団塊の世代が後期高齢者となり、日本が超高齢化社会を迎える2025年は目前です。

複合危機を乗り越えるには？

私はあらためて「結（ゆい）の心は自治の心」という宮崎県綾町の㈷郷田實町長の言葉にこれからの自治体の在り方の原点があると思います。再度私たちがお互いに力を合わせてできることを共に考えましょう。15 年前の「結通信創刊号」に私はそのことを書きました。今こそ「あるものは活かそう！ ないものは創ろう！」です。

経済思想家の斎藤幸平さんは「戦争、インフレ、気候変動。崖っぷちの民主主義と資本主義。複合危機を乗り越えるには壊れたコモンを耕し、自治を磨け」と言っています。私もまさにその通りだと思います。

今年は箕面市長選・市議選があります。その観点から候補者に具体策を聞いてみたいものです。



「結いの心」
～子孫に遺す町づくりへの挑戦
宮崎県綾町前町長 郷田 實（著）
郷田 美紀子（著）（評言社）

コモンの「自治論」
斎藤幸平 他（集英社）

どちらも結文庫にあります